

平成22年5月31日発行

NO.341

東南走ろう会

速送先
家南スルーツ社
0724(83)4653

1.

- 六月十三日(日)

九時
集合

2. 大会結果

萩往還マラニツク

5月25日

この大会への参加は、今回で4度目で過去の戻組は、1勝2敗のために何とか5分には戻したいという思いと、また、昨年は、参加一週間前の70キロの大会に出て右足を痛めたままの参加で敢えなく30キロでリタイヤし悔しい思いをしましたので、今回何とか完踏を目指して参加しました。今年も大会前の4月始めに腰痛となり桃源郷マラソンノンも忘記で回る事態になりましたが、何とか成程ここで間に合った参加する事が出来ました。

した。尚、ここ数年連続して参加されていました今仁さんが、申し込みが遅れてしまい参加出来ず私一人での参加となりました。大会は、天気には恵まれ過ぎて3、4日と連日まで気温は、28度まで上がりレース途中のエイドの情報では、暑さに負け多数の人がリタイヤしたとの情報を得ました。例年であれば途中でもつと多くのランナーと出会うのに、何だか少ないと感じていましたが、やはり多くの方が途中棄権された様です。因みに360人程が参加し、完踏したのは150人程で42%の完走率でここまで最近では極めて低い数字となっています。

3. トレイルラン

先日の5月15日(土)に種河神社→市民の里→佐田→和泉鳥取→山中渓→雲山峰→六十谷までの約30キロを堀池さん、川嶋さん、田中さん、向井さん(岡田の会社)の5人で行つてきました。当日は、天気にも恵まれ山中渓から六十谷への山道も新緑が、鮮や



10年走行距離

かで最高のコンディションでした。コースとしてもそれほど厳しくもなくゆつたりと走ることができました。種河神社を9時10分頃スタートして六十谷に着いたのが9時頃、ここで川嶋さんが先に帰られましたが、他の4人は駅から少し離れた食堂で一杯飲んで帰宅、楽しい一日を過ごしました。また、この様なイベントをやりたいと思います。その時は是非参加してみて下さい。

4. 大会予定

現在新たに予定されているフルマラソンの記事がランナーズに載っていました。
に参加してみたいですか。

関西エリアで予定されているフルマラソン概要

大会名称	開催時期	コース	定員	制限時間
ひょうご・神戸マラソン(仮称)	2011年11月～2012年1月	ゴールはポートアイランドでほぼ決定。神戸市役所をスタートし、明石海峡大橋のたもとで折り返す西コースと、甲子園球場をスタートし、須磨海岸公園で折り返す東コースの2案で検討中	1～2万人	5～7時間
大阪マラソン	2011年10月～2011年11月	検討中	最大3万人	最大7時間
京都シティマラソン(仮称)	2011年度	平安神宮前を発着点とし、市内の観光名所を巡るコースで検討中	検討中	検討中

*上記内容はいずれも検討段階での内容のため、変更となる可能性がある

関西では京都、大阪、兵庫、奈良の4府県の県庁所在地で都市型のフルマラソンが計画されているが、その先陣を切つて開催されるのが、今年の12月5日(日)に行われる「奈良マラソン2010」。奈良市鴻ノ池陸上競技場を発着点とする陸連公認コースは、平城京跡地に復元され

春のフルマラソンシーズンがひと段落したばかりだが、早くも今年度の秋から冬にかけて開催されるフルマラソンのエントリーが間もなく開始する。口火を切るのは5月1日から受付がスタートする湘南国際マラソン(神奈川県)。前回は11月に行われたが、今年は同時期に横浜でAPEC会議が行われる関係で、開催日は2011年1月23日(日)にスライド。受付開始から大会当日まで実に8カ月以上は、今年で28回目となる新潟マラソンは、新潟シティマラソンと大会名を変更し、10月10日(日)に新しいコースで開催される。制限時間は5時間だが、新潟市役所前など、街の中心地を走るほか、新潟大学のキャンパス内、国的重要文化財にも指定されている萬代橋もコースに含まれるなど、旧コースと比較すると、見所は格段に増えている。エントリー開始は6月中旬で、定員は8000人規模を予定しているとのこと。

このほか、2011年度からの開催が予定されている、大阪、京都、神戸のフルマラソンに関しては、現時点では正確な開催日程、制限時間、定員等は発表されていないが、コースなどは徐々に固まりつつある大会もある様子(上表参照)。前述の奈良マラソンも含めると、比較的近日程で、1万人以上のマンモス大会がひしめき合う形になるため、福知山マ

た朱雀門、東大寺大仏殿、興福寺、春日大社といった見所のほか、折り返しコースのため、ランナー同士のすれ違いも楽しめる。制限時間は6時間で、フルマラソンの定員は1万人。他にも10km、5km、3kmも行われ、定員を合計すると、1万7000人のマンモス大会となる。

エントリーは5月10日(月)からランネットと専用振替振込用紙でスタート。「古都奈良の文化財」として、ユネスコの世界遺産にも登録されている町並みのか走れるコースは、全国からランナーが集まることは確実。先着順で定員になり次第締切とのことなので、出場を検討しているランナーは、早めのエントリーが必要となるだろう。なお、毎年12月に開催してきた奈良春日・大仏マラソン

月開催)といった大規模フルマラソンが相次いで誕生し、東京・荒川市民マラソン(3月・東京・佐倉健康マラソン(3月・千葉・青梅マラソン(2月・東京・30km)など、既存大会の集客への影響が懸念されたが、蓋を開けてみれば、折からのランニングブームも追い風となり、既存大会も参加者が増えるという相乗効果をもたらしている。

フルマラソン完走者は620人に1人という現実。

2011年の秋以降の開催
大阪、京都、奈良は
関西では京都、大阪、兵庫、奈良の4府県の県庁所在地で都市型のフルマラソンが計画されているが、その先陣を切つて開催されるのが、今年の12月5日(日)に行われる「奈良マラソン2010」。奈良市鴻ノ池陸上競技場を発着点とする陸連公認コースは、平城京跡地に復元され

このほか、2011年度からの開催が予定されている、大阪、京都、神戸のフルマラソンに関しては、現時点では正確な開催日程、制限時間、定員等は発表されていないが、コースなどは徐々に固まりつつある大会もある様子(上表参照)。前述の奈良マラソンも含めると、比較的近日程で、1万人以上のマンモス大会がひしめき合う形になるため、福知山マ

ラソン(11月・京都、泉州国際マラソン(1月・大阪)、篠山マラソン(3月・兵庫)といった、関西エリアの既存大会の集客に影響を及ぼす可能性もある。

しかし、関東地区でも2007年は、東京マラソン、湘南国際マラソン(第1回大会は東京マラソンの約1カ月後の3月開催)といった大規模フルマラソンが相次いで誕生し、東京・荒川市民マラソン(3月・東京・佐倉健康マラソン(3月・千葉・青梅マラソン(2月・東京・30km)など、既存大会の集客への影響が懸念されたが、蓋を開けてみれば、折からのランニングブームも追い風となり、既存大会も参加者が増えるという相乗効果をもたらしている。

フルマラソン完走者は620人に1人という現実。

ランニングブームと言われてはいるものの「フルマラソン＝歳刻みランニング」の最新データでは、2009年度国内のフルマラソンを最低1回でも走った人の数は約16万8000人。20歳以上の成人的人口当たりでは、620人でようやく1人存在するというレベル。首都圏では多くのフルマラソンが募集開始から短期間で定員に達しており、地域によっては、フルマラソンの大会自体が存在しないことを考えると、今後も新たな大会の誕生を期待したい。